

日本生殖医療心理カウンセリング学会 第10回学術大会

2013.03.03 宮城

IVF大阪クリニックにおける生殖医療相談士の取り組み

宮喜由紀子、加藤真智子、小川久仁子、五寶秀美、福田愛作、森本義晴

IVF大阪クリニック

当クリニックでは、診察後個室にて看護師から当日の診察内容に関する確認や質問への回答、次回の診察の予約について説明をおこなっている。その際治療以外の事柄や心理面での相談をされることも多い。そのため、2011年4月から診察後の説明とは別に、生殖医療相談士4名による「ナース相談室」を開設し、患者様からの様々な相談に対応し感情表出の場を提供している。今回、どのような患者様がナース相談室を利用したか何をも求めているかを知るため、2011年4月から2012年10月の期間に「ナース相談室」を利用した患者様を対象にアンケートを実施した。その結果、利用者には治療歴が1～2年未満の方と5年以上の方が多く、また診察後の説明だけではなく精神的ケアを求めていることを示唆する集計を得た。様々な患者様のニーズに対し生殖医療相談士としての知識を使い対応することの必要性を実感したのでここに報告する。